専門教育科目 講義科目

授業科目名	税理士のための財務諸表論Ⅰ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	林　恵子	EJ26	3・4	2

科目の概要

本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることである。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。

科目の到達目標

①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。
②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。
＊EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）全体としての到達目標となる。

テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書＆問題集（１）』ＴＡＣ税理士講座(編),ＴＡＣ出版

テキストの読み方

①財務諸表論の全体構造をまず、大まかに理解する。
②次に、会計公準、会計原則の基本と国際財務会計基準（IFRS）を意識して、世界統一基準となりつつある概念フレームワークを学び、企業会計の潮流を知る。
③そして、日本基準の財務諸表の体系を確認し、貸借対照表、損益計算書等の計算書類の仕組みまで学習を進める。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。